

令和6年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・用具の扱い方について、スモールステップで確認しながら学習を進めたことで、安全に留意して活動する意識を醸成することができた。
- ・材料の造形的なよさや面白さについて話したり試したりする時間を設定したことで、テーマや材料からイメージを広げる発想や構想の能力を高めることができた。
- ・鑑賞カードの活用によって、机間指導だけでは見取れない児童の思いを把握し、それを実現していくための手だてや評価につなげることができた。
- ・タブレット端末を利用した記録や振り返り活動によって、自己の学習状況を把握したり、他者の作品を参考によりよい表し方を追求しようとしたりする態度を養うことができた。

(2) 課題

- ・材料や自分たちの作品について、ある程度の形や色、連想されるイメージを言葉で表すことはできるが、造形的な特徴を言葉で表したり、自分の表現に取り入れたりする力が十分に身に付いていない。
- ・自分なりのテーマや表し方を考え、表現を通してそれを追求しようとする力が十分に身に付いていない。
- ・取り組む題材によって児童の学習意欲が低くなってしまうことがある。児童の学習意欲を引き立てながら、苦手とする領域での成功体験を積み重ね、表現することへの自信を高めていく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） ※実施なし

(2) 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 多くの児童は、表現したいことに対して、材料や用具を工夫して使うことができる。	○ 想像力を働かせ、自分なりに工夫しながら表し方を考えたり構想したりしている。一方、完成度の高さを求めすぎて失敗を恐れる児童もいる。	○ 児童が興味をもって活動に取り組めるように、題材名を工夫したり様々な材料を扱ったりすることで、意欲的に楽しんで取り組む姿が見られた。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 新しく扱う材料や用具について、安心感をもって使用したり、別の活動でも応用したりすることができる。 ○ 指先の感覚を生かして表	○ 学習を通して、自然に鑑賞する雰囲気醸成され、お互いの表現のよさを認め合ったり、自分の表現に取り入れたりしようとしている。	○ 新しい材料や用具との出会いに期待感をもち、進んで学習に取り組もうとしている。 ○ 製作の見通しを立てて作品を完成させる力が十分

することが難しく、表したいことを十分に形や色で表すことができないことがある。	○ 形や色の感じ、組合せなどの造形的な視点をもって鑑賞する力が十分に身に付いていない。	に身に付いていない。
--	---	------------

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ これまで扱ってきた用具の安全な使い方が定着しており、自信をもって自分の表現に活用することができる。 ○ 表したいことに適した材料や用具を選択したり、振り返って表し方を再考したりする力が十分に身に付いていない。	○ 生活経験や自分の興味を基に、自分のテーマや表し方を考え、表すことができる。 ○ 材料から自分なりの価値を見いだして表現に生かしたり、新たな表現の可能性を探ったりしようとする力が十分に身に付いていない。	○ 自分の作品をよりよくするために、粘り強く製作に取り組むことができる。 ○ 製作の見通しを立てて作品を完成させる力が十分に身に付いていない。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 用具の扱い方、安全への指導を徹底しながら、紙や身边材料を中心に扱い、手や指先を使う経験を多くさせる。 ○ 製作時に相互鑑賞の機会を設けて、自分の表現に生かすようにする。	○ 題材や材料のことについてクラス全体で話し合い、イメージをもって活動に取り組めるようにする。言葉で表したり、楽しさを想起させたりしてから表現する活動に入り、児童の思いを尊重しながら製作を進められるようにする。	○ 個々の表現のよさに寄り添い、楽しみながら、自信をもって活動できるようにする。 ○ カリキュラムマネジメントの充実を図りながら、目的意識、相手意識をもてるような導入を工夫することで、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 発達段階を考慮した材料や用具の選定、活動内容の精選を通して、全ての児童が造形活動に充実感を味わえるようにする。 ○ 掲示物の工夫を通して、児童がいつでも用具の使い方を確認できる学習環境を整える。	○ 鑑賞する活動の際には、造形的な視点に関連する単語を掲示したり、児童との対話を通して言葉を引き出したりして、造形的な視点をもって鑑賞する力を高める。	○ 毎時間の振り返りカードの活用を通して、各自の進捗状況を可視化するとともに、導入とまとめでの声掛けによって、製作の進め方を調整しようとする態度を養う。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 表現する活動では、材料や用具の造形的な特徴や使い方について、十分に試したり考えたことを伝え合ったりする時間を設定し、表したいことに合わせて自分なりの表し方をもって表現する力を高める。	○ 鑑賞する活動の際には、思い付いたテーマや自分なりの表し方などについて、言語活動を通して整理した上でそのよさを他者と認め合うことで、材料からテーマや表し方を見付けることの価値を感じられるようにする。	○ 毎時間の振り返りカードの活用を通して、各自の進捗状況を可視化するとともに、導入とまとめでの声掛けによって、製作の進め方を調整しようとする態度を養う。